

一般質問通告書

受領日時 令和4年5月30日 午前10時20分

8番 氏名 畑澤洋子

| 質問項目 | 質問の要旨 |
|---|---|
| 1 マイナンバーカード普及状況とその促進について | (1) 現在の町民への普及数はどうなっているか。県内市町村から見て平均的な普及になっているか。 (2) 出張申請を始めた町がある。写真撮影・申し込み支援を無料で行い後日郵送で届く。これまで進めてきた普及方法は。今後どのように普及促進を図るか。 (3) カードを作るとは思っていないが、マイナポイントなどを、丁寧に説明してくれる機会あればと思っている人も多い。地域別に公民館などを会場に説明会ができればいいが、広報の活用か別冊版でのチラシ等が優しい方法ではないか。 |
| 2 公共施設の男性トイレの充実と災害時備蓄トイレも充実を | (1) 男性に多い膀胱がん・前立腺がんの手術後の排尿コントロールは難しい。尿漏れパッドを使わざるを得ない人が、社会には一定数おられる。処理に困りトイレに流し詰まる。たっぷり含んだパッドを持ち帰るなどの男性も少なからずいる。役場と公共施設の男性トイレにサニタリーボックスの設置を。 (2) 災害時の避難所に人工肛門・人工膀胱の装着者専用の方に便利な簡易トイレの備蓄を。 |
| 3 認知症の人と、ご家族を一体で支援する施策を前向きに | (1) 2025年には5人に1人が認知症になるとの予測がある。厚労省は、認知症の人と介護をするご家族を一体的に支援する市区町村に補助をする。介護する家族の負担感を軽減し、本人の意欲向上、良好な家族関係の維持を目指すことを目標としている。町では実施を検討しているか。どのような内容を考えているか。 |
| 4 道路の穴ぼこ（ポットホール）町民が見つけたらスマホで送信できるシステムの採用を | (1) 道路の破損箇所を発見したら、アプリを起動させ、その場で写真撮影。GPSで場所の情報が特定され「穴あり」と書き込めば、役場の担当課に伝わるシステムの導入を。 |